

管理番号

2025-001-1

研究内容の説明文

説明用課題名* (括弧内は申請課題名)	医療機関で新たに問題となっている新菌種の解析 (同上)
研究期間	2025 年 4 月～2028 年 3 月
研究機関名	日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 感染症解析部
研究責任者職氏名	主査 松本真実

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

【目的】

黄色ブドウ球菌および大腸菌、それぞれの近縁種として新しく分類された菌種について、菌種同定方法や菌種の特性についてデータを収集することを目的とします。

【意義】

近年、細菌の遺伝子解析が進歩し新しい菌種が分類されていますが、近縁菌種間で生化学的、分子遺伝学的特性が類似しているため正確な同定が難しく医療機関で問題となっています。そのため新しい菌種についてあらかじめデータを取得しておくことは、今後、血液製剤への新菌種の混入事例が発生した際に、正しく菌種を同定し対策を講じる上で有用と考えます。

2 使用する献血者の試料と情報の項目

献血者の試料の種類：規格外となった血小板製剤、赤血球製剤および原料血漿
献血者の情報：採血日および ABO 血型

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液等を使用する共同研究機関》

なし

《献血血液等を使用しない共同研究機関》

なし

4 献血血液等を利用又は提供を開始する予定日

2025 年 7 月 1 日

5 方法《献血者の試料・情報の使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》

規格外となった血小板製剤、赤血球製剤および原料血漿に細菌を接種し、経時的に外観変化と細菌増殖を調査します。また、近縁菌種との識別性を評価するため、菌株を対象として毒素産生等の生化学的解析および分子遺伝学的解析を行います。

所属	日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 感染症解析部
担当者	松本真実

別紙様式第 10

電話	03-5534-7522
Mail	m-matsumoto@jrc.or.jp